

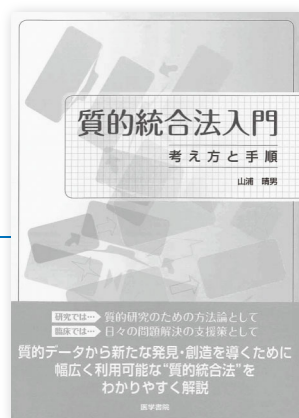
質的統合法入門

考え方と手順

著 山浦晴男

定価 2940 円(本体 2800 円+税 5%)

医学書院



質的統合法との出会い

私が前職だったとき、ある研修から戻った副部長が興奮しながら話しかけてきた。「思考の方法は3つあるんですよ！ 陣田さんがいつも言ってる帰納法と、演繹法と発想法ですって！」

さっそく見せてもらった研修資料には、家のような形の図が描かれていた。「W 型問題解決モデル」とよばれるそれは、私たちの問題解決における思考過程を示したモデルだった。臨床現場での体験から看護を考える「帰納的アプローチ」にこだわってきた私は、それがこのモデルで整理されたように思えて、「もっと知りたい！」と一気に資料を読み進めた。この研修の指導者が、本書の著者である山浦氏だった。「知の発見」が、これほど人を興奮させる

のかとあらためて感じた出会いであった。

タイトルにもある「質的統合法」は、山浦氏の師である川喜田二郎氏が創案した「KJ 法」を受け継いだ技法である。KJ 法の名称は、ほとんどの看護師が一度は耳にしたことがあるだろう。その KJ 法を川喜田氏のもとで 20 年間追究した山浦氏は、師の亡くなった後も独自に探求を続け、質的統合法へと発展させたのである。

現場での問題解決を深める

山浦氏はしばしば恩師の話をされる。「KJ 法は科学的人間学である」「現場で起きている1つひとつの問題を協議し、問題解決する過程こそ科学である」、そうしたエッセンスは本書の第1章で丁寧に説明されている。先述した

W 型のモデルと思考法の関係もここで解き明かされている。初学者にとっては難解かもしれないが、臨床現場でいつも「科学とは？」と自問自答している看護師にとって重要な部分である。

第2章からは、初心者でも質的統合法を使いこなせるよう、手順を要領よく解説している。そこでは山浦氏が実際に指導した事例も示されており、これがまた面白い。無数の逐語録の断片が深められた結果、最終的に見出される「知」に、思わずうなってしまう。

昨今の臨床現場のスピード化は目覚しく、日々の問題解決も表層的になりがちである。しかし、こうしてじっくり掘り下げていくことで、混沌とした現場の課題をクリアにするだけでなく、「臨床の知」を見える形にすることができるのである。医療人教育のなかで避けて通れない学びのプロセスである。

現在、私は、「チーム医療推進委員会」の委員長を担っている。会議では、委員が付箋に書き出したことを集め、共通性を見出し決定するという、質的統合法のエッセンスを取り入れている。チーム医療・多職種協働の時代の共有ツールとして、この技法は今後さらにその可能性を発揮することは間違いない。本書を理解し、日常的に使いこなすことができれば、現場で複雑に絡んだ糸を、携わる人々がみずからの手で解きほぐしていく醍醐味を味わうことができる。

問題解決を深めながら 「臨床の知」を可視化する

〔評者〕 陣田泰子 済生会横浜市南部病院病院長補佐